

木原なわて会

市町村名 袋井市

地域	木原地区一円		代表者名	鈴木哲夫	活動期間	平成20～24年度	
協定面積 (ha)	水田	38.25	対象面積 (ha)	水田	38.25	対象資源	数量
	畑	0.75		畑	0.75	農用地	38.9ha
	草地			草地		開水路	6.6km
	計	39.00		計	39.00	パイプライン	
主要作物	水稻		参加団体	農業者 部農会 非農業者 自治会 老人会 子供会 木原一里塚保存会 磐田用 水東部土地改良区		ため池	
構成員	農業者	非農業者	計			農道	6.1km
人数	24	11	35			事業費(年)	1,704,000
主な活動内容	<p>(基礎部分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地等の発生状況の把握 ・施設の点検 ・共同作業計画の策定 ・草刈り ・配水操作 他 		<p>(農地・水向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の機能診断 ・診断結果の記録管理 ・年度活動計画の策定 ・きめ細やかな雑草対策 ・通水試験の実施 ・ゲート類等の保守管理の徹底 他 		<p>(農村環境向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観形成、生活環境保全計画の策定 ・広報活動 ・地域住民等との交流活動 ・景観形成のための施設への植栽等 ・施設等の定期的な巡回点検、清掃 		
地域の概要	<p>本地区は、旧国道1号線が中央に横切る形で、国道北側に住宅、南に倉庫が建ち並び周りに水田が広がる地区です。農業用水を含めて水には苦慮した地区で、平成になって6年間を掛けて支線の農業用水をパイプライン化し、適正な水配分が可能となったが、近年の集中豪雨時には、河川が溢流する事態となっている。</p>						
目指すべき方向	<p>農家の高齢化、担い手不足により、集落内の農家戸数も半数に激減し、農業施設や農用地に対する意識が希薄となり、地域活動など交流活動も参加者が減少しています。そのため、地域の資源である農地や農業用施設が、地域の宝であることを認識してもらう活動を非農家と共同で開催し、次世代に引き継ぐ活動をしていきたい。</p>		<p>水路の泥上げ</p> 				
活動の感想	<p>初年度で、計画策定に時間を要してきたため、点検等の基本的な活動が遅れ、時間がない状態での活動となったが、目的である農業施設の保全には、農家が中心となって地域で用水改良(パイプ布設)400mが出来たことは、大きな成果であった。</p>		<p>破損施設の改修</p> 				
課題	<p>点検活動、機能診断を十分時間を掛けて行い、修繕箇所等の必要性や妥当性を検討して実施していきたい。又、景観形成・環境整備にも積極的に取り組みたい。</p>						
抱負・コメント	<p>1集落での活動であるため、集落全体で取り組める活動メニューを策定して、目的である農用地・農業用施設の保全につながるイベント等の開催を図っていきたい。</p>		<p>施設等の巡回点検・清掃</p> 				